

第204期 報告書

2019年4月1日～2020年3月31日



豊かな未来へ 技術のメッセージ

若築建設

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、格別のご高配を賜りありがとうございます。たく厚くお礼申しあげます。

当社第204期の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申しあげます。

当期におけるわが国経済は、上期においては企業収益が高い水準で推移し、雇用・所得の改善が続くなど、景気は緩やかな回復が続きました。しかし、下期は輸出・生産に弱さが一段と増し、海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響、消費税引き上げ後の消費者マインドの動向など、不透明な要素が増してきました。加えて今年1月以降、新型コロナウイルス感染症の拡大は、内外経済に与える影響がきわめて大きく、先行きを見通せない状況にあります。

建設業界におきましては、公共投資、民間設備投資ともに底堅く、事業環境は堅調に推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループは「中期経営計画（2018年度－2020年度）」の最終年度であり、創業130周年となる2020年度を迎えました。働き方改革、生産性向上、将来を担う人材の確保・育成など建設業全体の課題にも全力で取り組み、より一層の企業価値の向上を図ってまいります。

本計画の概要は以下のとおりであります。

<中期経営計画（2018年度－2020年度）>

○基本方針

更なる成長へ向け、経営資源の有効活用により「収益力の強化」を図る

○基本戦略

1. 「品質・安全」を核とした、工事施工高の緩やかな増加
 - ・現場生産性を重視（技術者一人当たり完工高、ICT技術の活用）／適正な配員
2. 土木部門の更なる強化（海上土木はマリコントップクラスとしての進化）
 - ・競争力強化に繋がる研究・開発／ICT技術の活用／総合評価対応力の強化
3. 民間部門の拡充
 - ・首都圏へ注力／法人顧客の拡大／民間建築への対応を強化（本支店建築体制の強化）
 - ・取り組み案件の多様化（風力・バイオマス・太陽光・小水力等の再生可能エネルギー／耐震化／維持・修繕／不動産を活用した企画営業）

4. 人員の確保・育成、活力の向上

・技術者の確保（採用方法の多様化）／社員教育の充実（技術の継承・スキルアップ・活力向上）

5. 海外事業の基盤強化

・ODA案件を中心に民間案件へ（東南アジア地域）／国際部を中心に全社一体営業／海外組織力の強化／海外要員の育成／外国人の新卒技術者の採用

6. 「更なる成長」へ積極的な資金投資

・収益基盤の多様化に関する投資／研究・開発／ICTを活用した業務改善／人材育成／協力会社への支援

7. 「働き方改革」への取り組み

・現場生産性の向上／週休2日へ向けた段階的な取り組み／業務の効率化、ICTを活用した業務改善／協力会社の処遇改善／意識改革の徹底／女性活躍推進

本計画では、「品質・安全」を核に生産性の向上を図るため、各基本戦略を推進し、計画達成に向け全社一丸となつて取り組むことにより、企業価値向上を図ってまいります。

今後の見通しにつきましては、わが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の停滞や外出自粛による個人消費の動向など、影響の予測が難しいリスクが存在し、先行きが不透明な状況にあります。

建設業界につきましては、公共投資は底堅く推移していくことが見込まれているものの、民間設備投資は、経済活動の下振れにより不透明感は拭えません。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



2020年6月

代表取締役社長 五百蔵良平

営業の概況

営業の経過および成果

当社は業績の向上に努めてまいりました結果、受注高は前期比3.5%増の956億円となりました。売上高につきましては、完成工事高が前期比9.1%増の1,041億円で、不動産売上高4億円と開発事業等売上高1億円を加えまして、前期比8.8%増の1,047億円となりました。この結果、次期繰越高は前期比10.0%減の786億円となりました。

損益につきましては、建設事業では、主に完成工事高の増加により前期を上回る利益となりました。

た。その結果、営業利益は前期比7.1%増の44億円、経常利益は前期比3.9%増の42億円となりましたものの、主に税金費用の負担により当期純利益は前期比8.3%減の27億円となりました。

財産の状況につきましては、主に短期借入金の増加により、有利子負債は前期比141.6%増の120億円、総資産は前期比5.0%増の819億円となりました。また、純資産につきましては、主に当期純利益により前期比5.9%増の298億円、自己資本比率は36.4%となりました。

部門別受注高・売上高・繰越高

(単位：百万円)

区 分	前期繰越高	当期受注高	当期売上高	次期繰越高	
建設事業	海上土木	17,456	30,447	33,337	14,566
	陸上土木	41,625	40,784	44,640	37,769
	建築	28,314	24,185	26,209	26,290
	計	87,396	95,417	104,187	78,626
不動産事業	—	—	435	—	
開発事業等	20	186	159	47	
合計	87,417	95,603	104,783	78,673	

当期中の主な受注工事

発注者	工事名	工事場所
国土交通省	横浜港南本牧地区コンテナヤード整備工事	神奈川県
宮城県	気仙沼漁港港町地区外防潮堤外工事 (その2)	宮城県
神戸市	平成30年災 神戸港沖災害復旧工事 (その1)	兵庫県
独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構	中央新幹線、中央アルプストンネル (尾越)	長野県
荏原環境プラント株式会社	(仮称) 伊豆市伊豆の国市新ごみ処理施設建設工事	静岡県

当期中の主な完成工事

発注者	工事名	工事場所
国土交通省	平成30年度福岡空港回転翼施設地盤改良外工事	福岡県
東京都	呑川防潮堤耐震補強工事 (その17) その2	東京都
東日本高速道路株式会社	東北自動車道蓮田SA (新上り線) 休憩施設新築工事	埼玉県
昭和四日市石油株式会社	震災対応栈橋新設工事PART1第1期工事	三重県
JFEエンジニアリング株式会社	豊前バイオマス発電所建設工事 土木・建築工事	福岡県

Topics

土木学会選奨土木遺産の認定～若松港築港関連施設群～

2019年9月25日、「若松港築港関連施設群」が令和元年度の土木学会選奨土木遺産に認定されました。選奨土木遺産制度は、歴史的土木構造物の保存に資することを目的として平成12年度に創設された制度で、近代（幕末から昭和20年代）に完成した土木構造物が対象となります。

今回、認定の対象となった構造物は、当社が建設した石積護岸を中心とした構造物群であり、当社所有の「出入船舶見張り所跡」および「測量基準点」も含まれております。

若松港は、筑豊炭田からの石炭を積み出す港として明治23年（1890年）より開発整備が始まりました。結果、筑豊炭田からの出炭量は、明治23年の80万から大正期には1,000万tに増大し、国内シェアの半分を占めるようになりました。若松港を中心とする北九州地区には、官営八幡製鉄所をはじめ多くの重化学工場が立地し、その後の日本の高度経済成長を支えていくことになりました。

2020年5月23日に創業130周年を迎えた当社にとりましては、節目の年の記念となる大きな出来事になりました。



測量基準点



若松港（洞海湾）

SDGsへの取り組み

SDGsとは「Sustainable Development Goals」の略称で、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。SDGsの理念とその達成に向けた取り組みは社会において主流化が進んでおり、世界中の主要な企業がSDGsに積極的に取り組むことを宣言しています。

建設業の活動は多岐にわたっており、SDGsの17のゴールと深い関わりを有しています。若築建設は創業以来130年にわたり、社会資本の整備や地域の方々との交流を通じて、地域や社会の発展に貢献してきました。今後も、国際社会の一員として持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、よりよい国際社会の実現に貢献・尽力してまいります。



当社の数値目標 ～2030年に向けて～

■再生可能エネルギーの推進

「年間発電量総計100億kWh（出力100万kW級の原子力発電1基相当分）を目標に再生可能エネルギー関連施設の建設に携わる」

7

エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



施策
洋上風力発電への積極的な検討、これまでの再生可能エネルギー事業の実績と経験を活かして、当社の技術力のアピール強化 等

■工事による排出CO₂の削減

「施工段階におけるCO₂排出量を2030年度までに30%削減する（1990年度比）」

※日建連目標＝25%削減

13

気候変動に
具体的な対策を



施策
施工管理システムなどによる作業効率の向上、高省燃費型の建設機械・作業船の利用推進、建設汚泥の固化処理技術の開発と場内利用推進による土砂運搬土量の削減、機械の点検整備・省エネ運転・アイドルングストップなどの励行 等

■工事生産性の向上

「2030年度までに作業生産性を20%UPさせる技術開発を5件以上実施する（2018年度比）」

9

産業と技術革新の
基盤をつくらう



施策
ICT施工等、高効率の施工技術の開発、管理システムの開発、技術研究所の強化、プレキャスト工法の高度化、保有害する作業船の高性能化・自動化 等

Technology

クレーンカメラAIシステム

～ブーム直下にいる作業員の存在をクレーン操縦者に警告～

■概要

クレーンカメラAIシステムはAIによる画像解析技術を活用して、移動式クレーンのブーム先端に設置されたカメラの映像から人物を認識し、クレーン直下の作業員の存在をクレーン操縦者に知らせるシステムです。

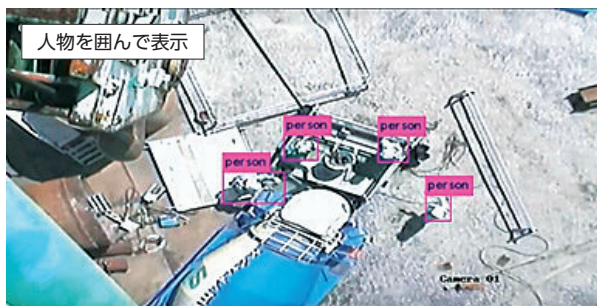
画像解析はトラック型制御ボックスに収められたエッジAIデバイス*1上でリアルタイムに行われ、この端末からモニター上の警告表示や警告音を発することによりクレーン操縦者に注意喚起を行い、クレーン作業の安全性を向上させます。

■システムの特徴

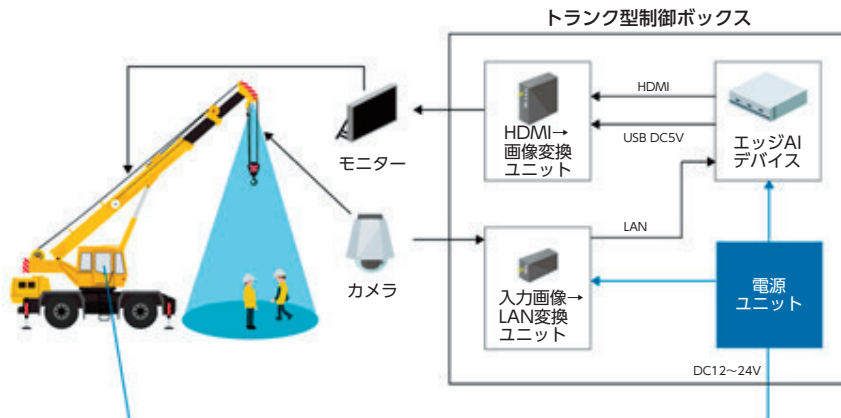
- AIによる画像解析はクラウド等のネットワークとの通信を利用せず、現地（エッジ）のクレーンで行われます。
- エッジAIデバイスが納められたボックスは小型かつ軽量で、狭小なクレーン操作室内でも容易に設置が可能です。
- 本システムで用いるディープラーニングを利用した画像認識アルゴリズムは、様々な現場から収集した100万以上の映像を教師データとして活用することで構築されています。
- ディープラーニングにより得られた識別は、ヘルメットの有無や作業服の色といった特定のパターン条件を認識するパターンマッチングタイプのシステムに比べて、外的要因の影響を受けにくいことが特徴となっています。

※1：外部サーバとの通信を利用することなく、現地にある端末で人工知能による解析処理を行う装置

本システムは複数の現場で習得したクレーンカメラの映像（教師データ）を使って、エコモット株式会社のAIアプリを基に共同開発しました。



システム画面



システム構成図

完成工事紹介

秋田港飯島地区岸壁（-11m）（改良）（耐震）地盤改良工事

【発注者：国土交通省】

本工事は、秋田港飯島地区の-11m岸壁を将来的な洋上風力発電設備の基地港として、組立等に耐えうる地耐力を確保するために、岸壁地盤の改良を行うものです。

工事内容としましては、地盤改良を行うために影響がある範囲の既設舗装・路盤等を撤去し、改良範囲（27.4m×140m）を深層混合処理工法（直径：2m、深さ：3～14m）により改良しました。改良には、過去にサンドコンパクションで改良済みの箇所についても施工できるRASコラム工法を採用しました。

地盤改良では、4機の改良機で同時施工を行い、工期短縮を図りました。



河津下田道路河津ICランプ橋下部工事

【発注者：国土交通省】

静岡県賀茂郡河津町は全国的に河津桜で有名ですが、現場の脇を流れる河津川は、天然アユの遡上が多いことや、秋から冬にかけてズガニの漁が行われることで有名です。

本工事は、伊豆縦貫自動車道の一部を構成する河津下田道路の河津ICランプ橋脚1基（P2橋脚下部）を河津川右岸に築造する工事です。

今回の工事は中部地方整備局で初めて取り組むISO9001活用モデル試行工事でした。施工中は、受注者による内部監査とISO9001が適正に履行されているか、第三者機関による監査を3回実施して受注者による品質管理の取り組み等を確認しました。



アリーナ八王子平岡 建替え工事

【発注者：スズキ株式会社・株式会社スズキ自販南東京】

八王子市平岡町は、北大通りと秋川街道が交差する場所に位置し、八王子ICへの経路でもあることから、交通量が非常に多い地域になります。また、近所には日本車のショールームが数多く立ち並ぶ、激戦区でもあります。

本事業は設計施工案件であり、既存の自動車修理工場兼自動車販売店舗の建て替えを目的とした工事です。店舗の建屋については、建ぺい率の上限を確保し、屋上に自走式の駐車場を設ける等、計画敷地最大限の有効利用を図りました。

工場の天井は屋根の折板現しのため、梁や柱の耐火被覆等の範囲を見た目良く見切れるように工夫しました。



【仮称】香椎照葉5丁目計画商業賃貸シニア棟新築工事

【発注者：西日本鉄道株式会社】

本工事は、福岡市東区のア일랜드シティに賃貸マンション（116戸）とシニアマンション（133戸）、商業ゾーン、コミュニティセンターで構成する複合施設を建設するものです。

東側にはアイランドシティ中央公園があり、公園の緑地が立体的に繋がるように各所へ緑化を施してあります。3階には保育所と地域に開放したコミュニティ広場があり、地域住民、保育所、老人ホーム住人との世代間交流により「笑顔と活気」が生まれ、その広場から続く散策園路の周囲には四季を通じて彩り豊かな常緑樹や落葉樹が植えられ、訪れる人々に「潤いと安らぎ」を与えるものとなっています。



七里長浜風力発電所建設工事

【発注者：株式会社鱈ヶ沢市民風力発電】

本工事は青森県西津軽郡鱈ヶ沢町で風力発電所を建設するので、北は津軽半島、西は日本海、南には津軽富士で知られる岩木山から世界遺産である白神山地へと続く自然豊かな土地です。

本事業は、GE社製3.2MWの風車3基により発電した電気すべてを東北電力に売電するものであり、発電所の20年間の総出力は5,970kWの計画です。

工事は若築建設・関電工特定建設工事共同企業体（乙型）で受注し、風車組立・風車基礎・造成・電線管路敷設・変電所基礎を当社が行い、風車内電気工事・変電所設置・電線敷設と発電所の使用前自主検査を株式会社関電工が行いました。



水島港玉島地区航路・泊地（-12m）等浚渫工事

【発注者：国土交通省】

水島港は岡山県中西部の高梁川河口に位置する特定重要港湾であり、多種多様な港湾貨物の荷役を行っており、取扱量は西日本一位です。

本事業は、今後見込まれる穀物取扱量増加にともなう輸出入の大型化に対応するため、係留・回頭水域となる航路・泊地の拡大を行うものです。

本工事は水島港玉島地区の浚渫工事を施工するもので、国土交通省が提唱するi-Constructionに基づき、起工測量から施工管理の記録および関係書類について3次元データの活用を試行するICT活用工事でした。また、最終的に30万㎡の浚渫工事となったため、浚渫、揚土とも3船団ずつ配備して施工しました。



財務諸表 (単体)

貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当期	前期
	(2020.3.31)	(2019.3.31)
資産の部		
流動資産	68,294	65,619
固定資産	13,610	12,348
有形固定資産	8,516	7,511
無形固定資産	166	170
投資その他の資産	4,927	4,666
資産合計	81,904	77,967
負債の部		
流動負債	47,291	44,384
固定負債	4,797	5,435
負債合計	52,088	49,820
純資産の部		
株主資本	28,028	26,241
資本金	11,374	11,374
資本剰余金	2,907	2,907
利益剰余金	14,058	11,972
自己株式	△312	△12
評価・換算差額等	1,788	1,905
その他有価証券評価差額金	82	199
土地再評価差額金	1,705	1,705
純資産合計	29,816	28,147
負債純資産合計	81,904	77,967

損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当期	前期
	(2019.4.1~2020.3.31)	(2018.4.1~2019.3.31)
売上高	104,783	96,284
売上原価	94,763	86,852
売上総利益	10,020	9,432
販売費及び一般管理費	5,569	5,275
営業利益	4,450	4,157
営業外収益	179	183
営業外費用	416	288
経常利益	4,212	4,052
特別利益	80	4
特別損失	127	103
税引前当期純利益	4,165	3,953
法人税、住民税及び事業税	1,155	791
法人税等調整額	210	109
当期純利益	2,798	3,053

株主資本等変動計算書 (要旨)

(単位：百万円)

	株主資本							評価・換算差額等			純資産合計	
	資本金	資本剰余金		自己株式	株主資本合計	利益剰余金		その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計		
		資本準備金	その他資本剰余金			資本剰余金合計	繰越利益剰余金					利益剰余金合計
2019年4月1日 残高	11,374	2,843	63	2,907	11,972	11,972	△12	26,241	199	1,705	1,905	28,147
当事業年度中の変動額												
剰余金の配当					△712	△712		△712				△712
当期純利益					2,798	2,798		2,798				2,798
自己株式の取得							△300	△300				△300
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)									△117		△117	△117
当事業年度中の変動額合計	-	-	-	-	2,086	2,086	△300	1,786	△117	-	△117	1,668
2020年3月31日 残高	11,374	2,843	63	2,907	14,058	14,058	△312	28,028	82	1,705	1,788	29,816

財務諸表（連結）

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当期 (2020.3.31)	前期 (2019.3.31)
資産の部		
流動資産	72,387	69,678
固定資産	13,481	11,954
有形固定資産	9,357	8,059
無形固定資産	171	176
投資その他の資産	3,952	3,717
資産合計	85,869	81,632
負債の部		
流動負債	49,338	46,396
固定負債	5,089	6,505
負債合計	54,428	52,902
純資産の部		
株主資本	28,738	26,788
資本金	11,374	11,374
資本剰余金	2,924	2,924
利益剰余金	14,752	12,501
自己株式	△312	△12
その他の包括利益累計額	1,649	1,014
その他有価証券評価差額金	82	199
土地再評価差額金	1,705	1,705
退職給付に係る調整累計額	△138	△890
非支配株主持分	1,053	928
純資産合計	31,441	28,730
負債純資産合計	85,869	81,632

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当期 (2019.4.1~2020.3.31)	前期 (2018.4.1~2019.3.31)
売上高	107,830	99,675
売上原価	96,877	89,469
売上総利益	10,953	10,206
販売費及び一般管理費	5,914	5,599
営業利益	5,039	4,607
営業外収益	132	124
営業外費用	425	291
経常利益	4,746	4,440
特別利益	42	9
特別損失	132	103
税金等調整前当期純利益	4,656	4,346
法人税、住民税及び事業税	1,367	940
法人税等調整額	198	105
当期純利益	3,090	3,300
非支配株主に帰属する当期純利益	127	97
親会社株主に帰属する当期純利益	2,963	3,203

連結株主資本等変動計算書（要旨）

（単位：百万円）

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
2019年4月1日 残高	11,374	2,924	12,501	△12	26,788	199	1,705	△890	1,014	928	28,730
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△712		△712						△712
親会社株主に帰属する当期純利益			2,963		2,963						2,963
自己株式の取得				△300	△300						△300
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						△117		751	634	125	759
連結会計年度中の変動額合計	—	—	2,250	△300	1,950	△117	—	751	634	125	2,710
2020年3月31日 残高	11,374	2,924	14,752	△312	28,738	82	1,705	△138	1,649	1,053	31,441

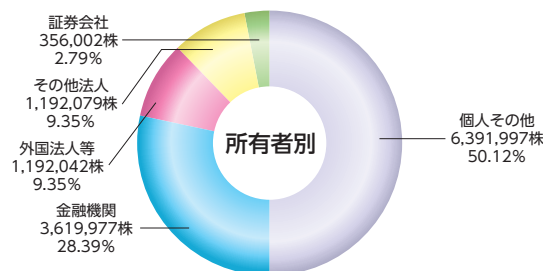
株式の状況 (2020年3月31日現在)

発行可能株式総数 24,000,000株
 発行済株式の総数 12,964,993株
 株主数 8,659名
 大株主

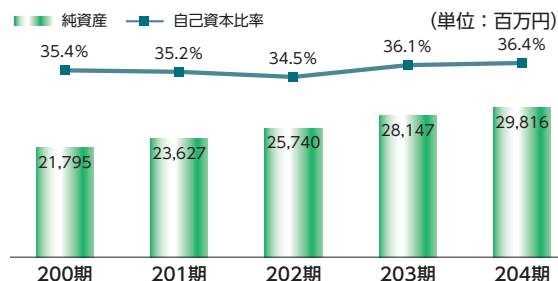
株主名	持株数(株)	持株比率
若築建設協力会社持株会	795,844	6.24%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	609,300	4.78
三井住友信託銀行株式会社	527,600	4.14
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	460,500	3.61
株式会社三井住友銀行	315,025	2.47
山内正義	312,900	2.45
株式会社千葉銀行	292,242	2.29
若築建設従業員持株会	254,383	1.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	234,400	1.84
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	213,500	1.67

(注) 持株比率は自己株式(212,896株)を控除して計算しております。

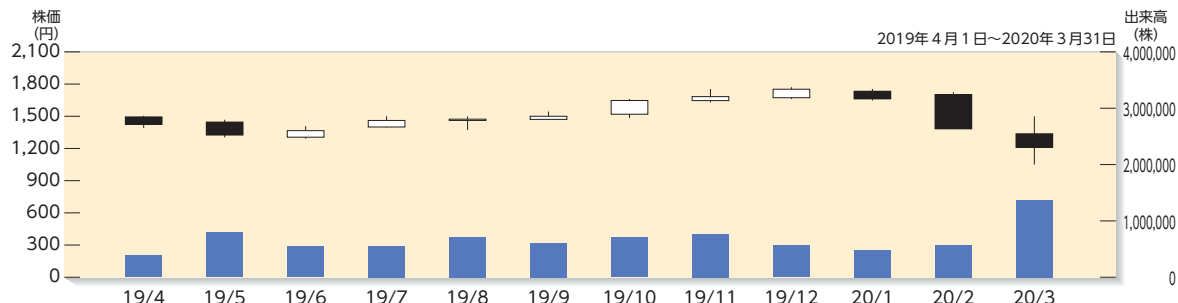
株式の分布状況



純資産・自己資本比率



株価チャート



役員 (2020年6月25日現在)

【執行役員】

執行役員社長	五百蔵	良平
専務執行役員	鳥田	克彦
専務執行役員	石井	己之
専務執行役員	梶原	誠
常務執行役員	中村	弘幸
常務執行役員	中下	幸彦
常務執行役員	寺本	忠高
常務執行役員	野木	本秀
常務執行役員	松本	久敏
常務執行役員	牧原	久利
執行役員	福岡	徹生
執行役員	儀満	和紀
執行役員	平田	靖祐
執行役員	坂田	豊光
執行役員	宮輪	哲文
執行役員	三瀬	英治
執行役員	峯村	謙史
執行役員	井口	朗一
執行役員	西田	洋一
執行役員	花田	雅和
執行役員	久保	裕一
執行役員	山本	憲比
執行役員	荒瀬	古之
執行役員	中	久

【取締役】

代表取締役社長	五百蔵	良平
代表取締役	鳥田	克彦
取締役	石井	己誠
取締役	中村	弘幸
取締役	牧原	久幸
取締役	田中	優次
取締役	朝倉	美夫
取締役	原田	康徳

【監査役】

常勤監査役	佃	敏郎
常勤監査役	勝見	浩明
監査役	森本	昌雄

(注) 取締役のうち田中優次、朝倉康夫、原田美徳の三氏は、社外取締役であります。

監査役のうち勝見浩明、森本昌雄の両氏は、社外監査役であります。



本店・九州支店 および わかちく史料館

会社概要 (2020年4月1日現在)

商号	若築建設株式会社 (WAKACHIKU CONSTRUCTION CO.,LTD.)
創業	1890年(明治23年)5月23日
資本金	11,374百万円
従業員	768名
事業所	
本店	〒808-0024 北九州市若松区浜町一丁目4番7号 TEL (093) 761-1331
東京本社	〒153-0064 東京都目黒区下目黒二丁目23番18号 TEL (03) 3492-0271
東北支店	〒980-0014 仙台市青葉区本町二丁目10番28号 TEL (022) 221-4325
千葉支店	〒260-0027 千葉市中央区新田町4番22号 TEL (043) 242-2245
東京支店	〒153-0064 東京都目黒区下目黒二丁目23番18号 TEL (03) 3492-0811
横浜支店	〒231-0015 横浜市中区尾上町一丁目6番 TEL (045) 662-0814
北陸支店	〒950-0087 新潟市中央区東大通一丁目2番23号 TEL (025) 241-1242
名古屋支店	〒460-0003 名古屋市中区錦一丁目11番20号 TEL (052) 201-5321
大阪支店	〒541-0056 大阪市中央区久太郎町二丁目2番8号 TEL (06) 6261-6736
中国支店	〒730-0031 広島市中区紙屋町一丁目3番2号 TEL (082) 248-1810
四国支店	〒760-0071 高松市藤塚町一丁目2番1号 TEL (087) 833-7347
九州支店	〒808-0024 北九州市若松区浜町一丁目4番7号 TEL (093) 752-3510
福岡支店	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東一丁目13番9号 TEL (092) 483-5307
海外事業所	ジャカルタ事務所(インドネシア共和国) コロンボ事務所(スリランカ民主社会主義共和国) ハノイ事務所(ベトナム社会主義共和国) マレ事務所(モルディブ共和国)
わかちく史料館	〒808-0024 北九州市若松区浜町一丁目4番7号 当社本店3階 TEL (093) 752-1707
開館時間	午前10時～午後4時
休館日	毎週月曜日・祝祭日・年末年始
入館料	無料

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関 株主名簿管理人事務取扱場所	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) (ホームページURL) 公告方法	☎ 0120-782-031 https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html 当社のホームページ (https://www.wakachiku.co.jp)に掲載する。ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する。
上場金融商品取引所	東京証券取引所

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛をお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座)を開設いたしております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記電話照会先をお願いいたします。



<https://www.wakachiku.co.jp>



豊かな未来へ 技術のメッセージ

若築建設

〒153-0064

東京都目黒区下目黒二丁目23番18号

TEL 03-3492-0271 FAX 03-3490-1019

